

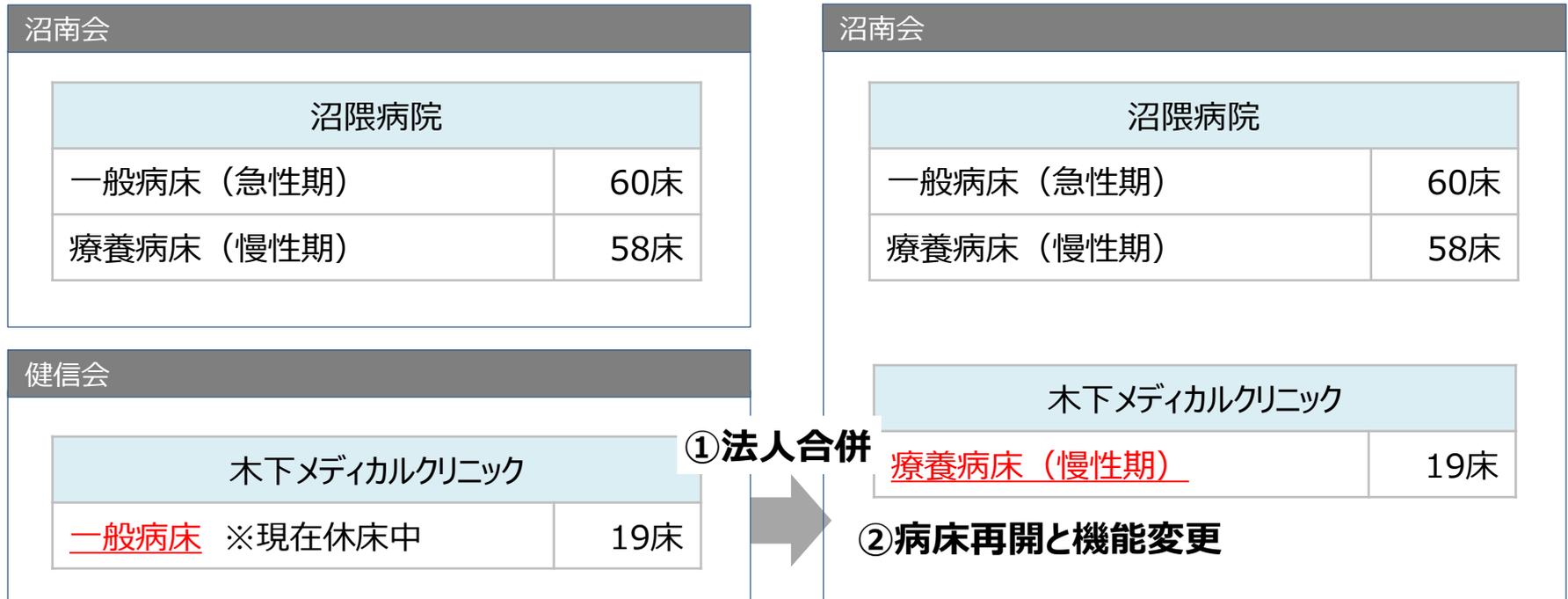
# 医療法人社団健信会及び 社会医療法人社団沼南会の合併について



社会医療法人社団 沼南会

## 1. 概要

- ①医療法人社団健信会（以降、健信会）と社会医療法人社団沼南会（以降、沼南会）の**法人合併を実施**（存続法人は沼南会）
- ②合併後、木下メディカルクリニックの名称は継続し、**病床再開および医療機能の変更（一般⇒療養）を行う**



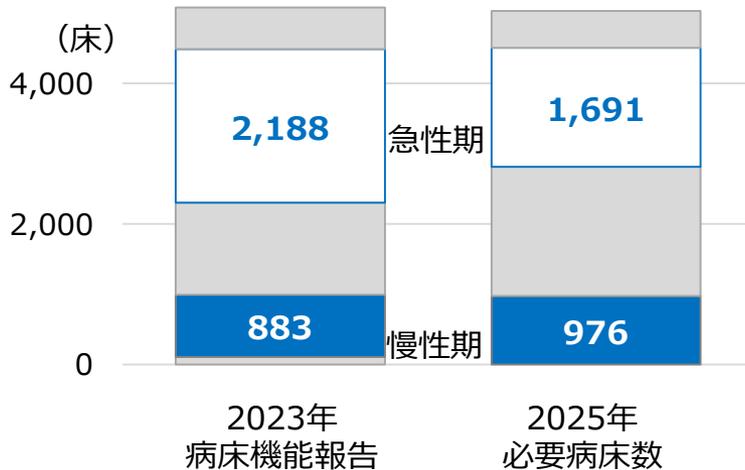
## 2. 経緯

- ✓ 健信会理事長は後継者不在に加え、高齢による事業継続の課題を持たれていた。長きにわたり沼隈地域において重要な医療介護の役割を担われており、かねてより事業継続にむけての模索をされていた。
- ✓ そのような状況の中、当地域における連携先当法人（沼南会）へ打診を頂き今回の合意に至った。

### 3. 対象施設の方向性

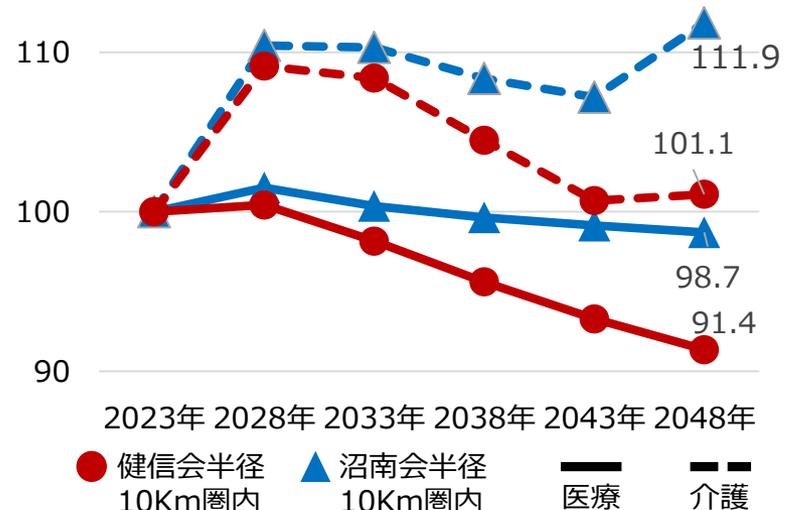
- 「1. 概要」の②に記載の通り、合併後は「木下メディカルクリニック」の病床を再開し療養病床へ転換を計画。病床再開にあたっては、現在の木下クリニックにて行う方針。
- このたびの再開および転換の目的は、沼隈病院の一般病床（60床）と療養病床（58床）の病床稼働率がそれぞれ**94.4%、98.5%（2023年度）**と非常に高く、かねてより急性期後に引き続き医療を必要とする慢性期患者の受け皿不足が沼南会グループ内だけでなく沼隈地域の課題となっていたことから行うもの。
- 福山・府中医療圏では、**2023年時点の慢性期病床数が2025年必要病床数に対し不足**していること（以下、①）や**当該地域において当面一定の医療介護需要が見込まれる**（以下、②）ことから、病床再開および病床機能転換は適当であると考えている。

①2023年病床数と2025年必要病床数  
（福山・府中医療圏）



※広島県地域医療構想より抜粋

②沼南会、健信会エリアにおける医療介護需要推計  
（2023年=100）



※圏内の年齢別将来人口推計より沼南会作成

